



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 うれしい子育て・楽しい子育て・幸せを呼ぶ子育て 〕
～ Well-being きっと幸せになる(社福)童心会の訓え ～

私が1973年(昭和48年)から50有余年の永きに渡ってこの人間教育(保育)の仕事に携わっていると
今でもたくさんの保育者仲間たちや保護者、また卒園生たちから近況のお知らせを頂きます。
その多くの人たちがWell-being(心も体も健康で社会的にも幸せな生活を送っている人)からなのです。
0歳児の時から私たちと生活を共にし”愛された育ち・だきしめ言葉”を共有した子どもたちは
皆さんが”思いやりと生きる力”を育み、身につけて育っていたからなのでしょう。
だから私たちの訓えは次のようになったのです。

1) 道しるべ

Well-being 幸せになろうね！幸せになろうよ！

2) 信条(Credo) やさしい保育園

- ① 保育者仲間に やさしい
- ② 子どもに やさしい
- ③ 保護者に やさしい
- ④ 地域社会に やさしい

3) 理念(Philosophy)

「自分を創る・人を創る」 ～ 人として如何に生きるべきか ～

4) 保育目標

「思いやりと生きる力」(慈悲と智慧)

5) 保育方針

- ① わたしを ぎゅっとして
- ② わたしを 見つめて
- ③ わたしを 聞いて
- ④ わたしを 呼んで

そして私たちは未成熟なまま生命を授けられた時から
ヒト属としての摂理(自然界を支配している理法)としての”二足歩行”を獲得するまで
約12か月もの間「体を動かし、脳を動かし、心を動かしながら自分を創る旅路」を歩み始めたのです。



笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番

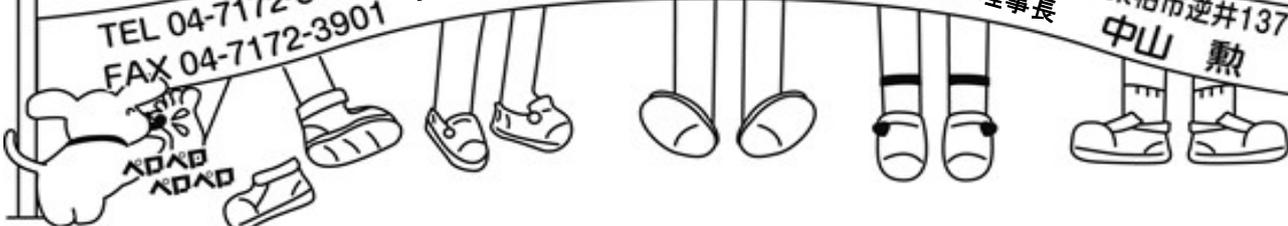


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



このように今まで”人の生き立ちの歩み”

「親がなくとも子は育つ」という通説が当たり前だった時代ではなくなったのです。
しかし今の人間科学(脳神経科学)は、昔のように親や養育者、ご近所の人たちとの良質な人間関係が育まれた村社会(地域社会)の存在を科学的に実証しているのです。
Learning to be(生きるを学ぶ) be(存在する、ある、いる)という自分の存在を認められることによって人が創られることを最近の科学的エビデンスが実証しているのです。
そしてさらに私たちは”人間学”としての「ひとの成り立ちの歩み」を次のように考えはじめたのです。

天命を知る

- | | |
|-------------|--------------|
| 1) ひとりで 生きる | 3) 人のために 生きる |
| 2) みんなと 生きる | 4) 助けあって 生きる |

天意を知る

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1) ひとりで できる | 1) ひとりで できた | 1) ひとりで 創る |
| 2) みんなと できる | 2) みんなと できた | 2) みんなと 創る |
| 3) 人のために できる | 3) 人のために できた | 3) 人のために 創る |
| 4) 助けあって できる | 4) 助けあって できた | 4) 助けあって 創る |

[人間としての礼節]

(現代版:無財の七施)

- 1) 笑顔 2) 挨拶 3) 思いやり 4) 感謝 5) 傾聴 6) 共感 7) 受容

[人間としての生きる心得]

・興味 ・関心 ・好奇心 (生きるを楽しむ)

[人間としての生きる姿勢]

・やる気(意欲) ・げん気(気力) ・ほん気(意志) (やる気・げん気・ほん気が生まれた運動会)

そして私たちは最後にこの宇宙のすべての摂理を作り給うた something great(偉大なるお人)の存在を信じて歩いていかなければなりません。
そして私たちは狩猟採集を生業(なりわい)としてきた人たち、またそれ以前の先人たちが敬い信じてきた「八百万の神」の存在も忘れてはならないのです。
そして畏怖・畏敬(偉大なる自然を恐れ敬う心)が生まれ育ってくるのです。

「生まれてきてくれてありがとう！生まれてきてくれて良かった！」という生命の不思議な神秘を感じながら”子どもは神の子”と信じ、未成熟なまま誕生したヒト(ホモサピエンス・賢い人)が人生を歩み始めるのです。
それを私たちは「自敬・自尊(自分を大切にできるヒト)」を創ることであると信じて生きてきました。

宗教(仏教)の訓えでは”自利・利他(自分を大切にするように他人を大切にすること)”
また他の宗教ダライラマの訓えでは”ツェワの心(自分を愛するように他人を愛しなさい)”という訓えがあります。
それを私たち(社福)童心会の訓えの基盤としてきました。

保育目標

思いやりと生きる力(慈悲と智慧)

慈 とは「人に安らぎを与えられたらいいな、と心から願うこと」

悲 とは「人の苦しみや悲しみを和らげてあげたらいいな、と心から願うこと」

智慧 とは「実人生を生き抜く力である」

私も30歳からこの保育(人間教育)の仕事に携わった時 この訓えを天から授けられ
”世のため人のために”かえして生きてきたつもりです。
そして今、改めて私がこの仕事を与えられたことに感謝しているのです!!

今日もまた一日一生を念じながら
すべての仲間たちのWell-being”幸せになろうね！幸せになろうよ！”と
祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

令和7年 8月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲